



トラブルシューティング

Textile software RIP

TxLinkTM4



ErgoSoft AG
Moosgrabenstr. 13
CH-8595 Altnau, Switzerland

© 2018 ErgoSoft AG, 無断転用禁止

このマニュアルに記載されている情報は発行時点で入手可能な情報に基づいており、予告なく変更することがあります。正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。

ErgoSoft AG による書面での許可なしに、本マニュアルのいかなる部分も電子媒体または読み取り可能な機械を含むいかなる形態においても複製または送信することはできません。

PANTONE® Colors displayed in the software application or in the user documentation may not match PANTONE-identified standards. Consult current PANTONE Color Publications for accurate color.

PANTONE® and other Pantone trademarks are the property of Pantone LLC. ©Pantone LLC, 2019 Pantone is the copyright owner of color data and/or software which are licensed to MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. to distribute for use only in combination with TxLink4. PANTONE Color Data and/or Software shall not be copied onto another disk or into memory unless as part of the execution of TxLink4.

商標または製品名は各社の商標または登録商標です。

TxLink4 には異なるエディションがあるため、このマニュアルに記載されている利用可能な機能の説明は必ずしもご利用になられる **TxLink4** のエディションのライセンスを反映するものではありません。ご利用になられる **TxLink4** のエディションに含まれる機能についてはミマキエンジニアリングのウェブサイトをご参照いただくか、または、販売店にお問い合わせ下さい。

Rev. 1.2

目次

はじめに.....	1
インストールに関するトラブル.....	2
ライセンス認証エラーが発生する.....	2
現象.....	2
ケース 1	2
起動に関するトラブル.....	3
ライセンスエラーが発生する.....	3
現象.....	3
ケース 1	3
ケース 2	3
ケース 3	4
実行中に発生するトラブル.....	5
COM エラーが発生する.....	5
現象.....	5
ケース 1	5
印刷に関するトラブル.....	6
印刷が開始しない	6
現象.....	6
ケース 1	6
ケース 2	8
印刷中にエラーが発生し、印刷が中断する.....	9
現象.....	9
ケース 1	9
ケース 2	11
黒いプレビューが JobCenter や PrintClient に表示される	13
現象.....	13
ケース 1	13
ジョブの実行中に発生するトラブル、または印刷結果の不良	15
ジョブのアーカイブファイル作成方法	15
その他の問題.....	17
サポート Z I P ファイルの作成方法	17

はじめに

本書には、TxLink4 のよくある問合せと対処方法を例示しています。本書をご確認の上、問題が解消しない場合は弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

インストールに関するトラブル

ライセンス認証エラーが発生する

現象

- **TxLink4** をインストール中に、以下のエラーメッセージがウェブブラウザに表示され、ライセンス認証に失敗する。



Mimaki Automatic License Update

Welcome to automatic license update.

Here you find license updates for you CmContainer, provided by the vendor of the license.

Select the CmContainer, you want to update and click "Check License Updates". You can transfer these updates during the next step.



エラー

ライセンス転送中の内部エラー。サポートに連絡してください。

0x18088008

CodeMeter License Central WebDepot v16.02.159.500.ws

2020-12-04 02:53:38 (UTC)

ケース 1

考えられる原因

- サポートされていないウェブブラウザ(Internet Explorer)を使用してライセンス認証を実行しました。

対処方法

- 1 インストール終了後に、以下の URL をサポート対象のウェブブラウザ(Microsoft Edge, Google Chrome の最新バージョン)で開き、ライセンス認証を実行してください。

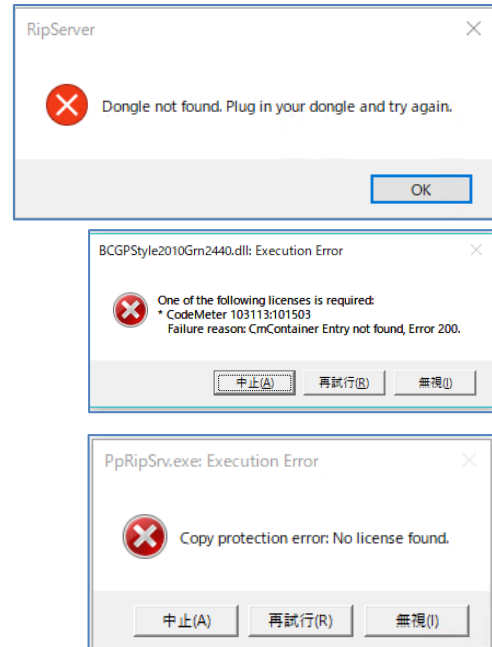
<http://webhost4.ergosoft.net/webdepotMimaki/>

起動に関するトラブル

ライセンスエラーが発生する

現象

- **TxLink4** をインストールした PC を起動後、右のようなエラーメッセージが表示され、**TxLink4** を起動できない。



ケース 1

考えられる原因

- PC が USB ドングルを正しく認識できていません。

対処方法

- 1 USB ドングルを、PC の別の USB ポートに挿入してみてください。
- 2 USB Hub 経由で USB ドングルを PC に接続している場合は、USB ドングルを PC に直挿ししてみてください。

ケース 2

考えられる原因

- PC が USB 関連のウィルスに感染している可能性があります。

対処方法

- 1 ウィルス対策ソフトウェアで PC がウィルス感染していないか調べてください。感染している場合は、ウィルスを駆除してください。
- 2 ウィルスを駆除した後で、**TxLink4** を再インストールしてください。

ケース 3

考えられる原因

- USB ドングルが故障している可能性があります。

対処方法

- 1 USB ドングル表面に印刷されているドングルの番号を確認します。汚れ等によりドングル番号が判別できない場合は、USB コネクター部分に刻印されているドングル番号を確認します。



- 2 USB ドングルを PC に装着した状態で、コードメーターコントロールセンターを起動します。コードメーターコントロールセンターは、スタートメニュー > *CodeMeter* > *CodeMeter Control Center* で起動します。
- 3 [ライセンス] タブのリストに、
1 で確認したドングル番号が表示されていることを確認します。ドングル番号が表示されない場合は、USB ドングルが故障しています。

USB ドングルが故障している場合は、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

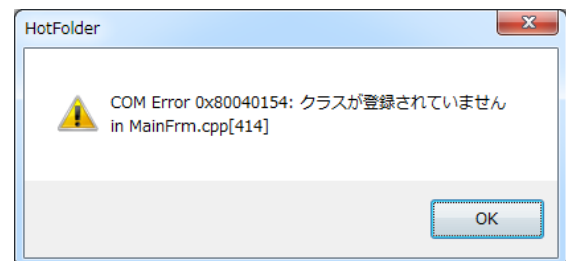
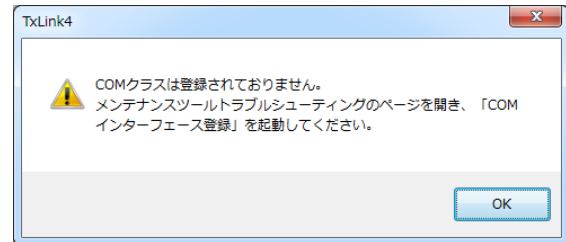


実行中に発生するトラブル

COM エラーが発生する

現象

- **TxLink4** を操作中に、右のような COM 関連のエラーが発生する。



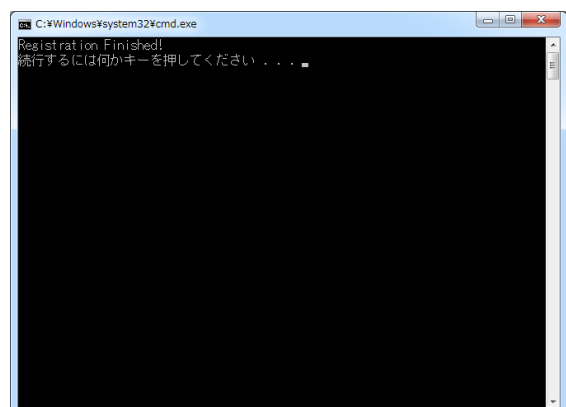
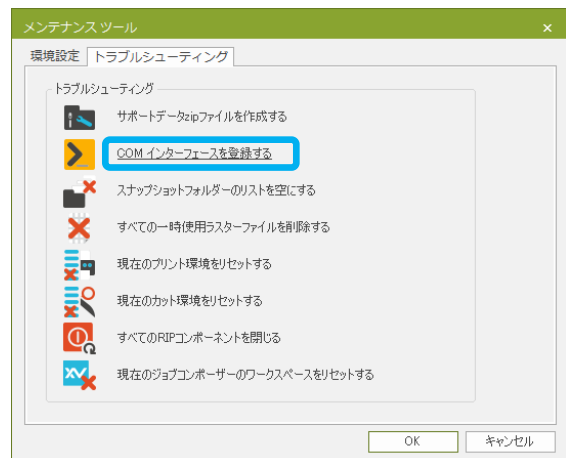
ケース 1

考えられる原因

- **TxLink4** のインストールが部分的に失敗することで発生する現象です。

対処方法

- 1 **TxLink4** を終了してください。
- 2 スタートメニュー > **TxLink4** > メンテナンスツールでメンテナンスツールを起動し、[トラブルシューティング] タブ内の [COM インターフェイスを登録する] を実行してください。
- 3 COM インターフェイスの登録が完了すると、右のようなウィンドウが表示されます。キーボード上の任意のキーを押して、操作を完了させてください。



印刷に関するトラブル

印刷が開始しない

現象

- 印刷ウィンドウで [OK] をクリックしても印刷処理が開始しない。

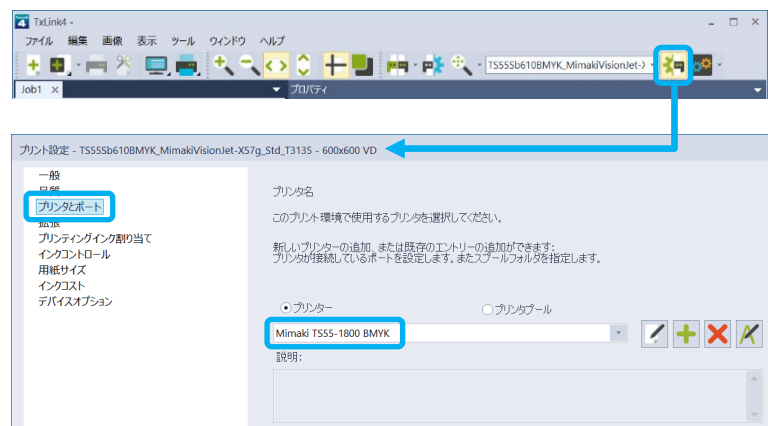
ケース 1

考えられる原因

- **PrintClient** が起動していない場合は印刷できません。

対処方法

- 1 プリント環境で指定されている **PrintClient** を調べます。**PrintClient** は、**プリント設定 > プリンタとポート**ウィンドウで指定されています。右図の例では、“Mimaki TS55-1800 BMKY” が使用されている **PrintClient** です。

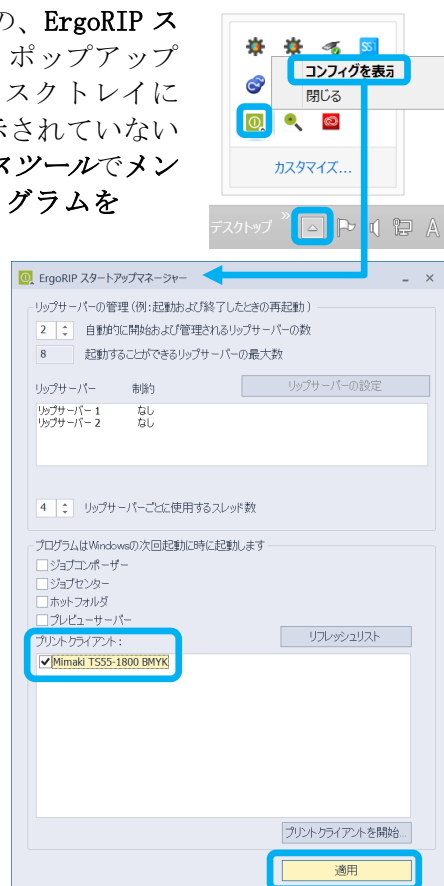


- 2 **PrintClient** を手動で起動する場合は、**ツール > プリントクライアント**から、対象の **PrintClient** を選択します。



- 3 **PrintClient** を自動で起動する場合は、タスクトレイ内の、**ErgoRIP** スタートアップマネージャーのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「**コンフィグを表示**」を選択します。タスクトレイに **ErgoRIP** スタートアップマネージャーのアイコンが表示されていない場合は、スタートメニュー > **TxLink4** > メンテナンスツールでメンテナンスツールを起動し、[環境設定] タブ内の「**プログラムを自動的に起動**」を実行してください。

プリントクライアントのリストで、自動起動させる **PrintClient** を✓し、[適用] をクリックすると、次回 PC 起動時から、✓した **PrintClient** が自動的に起動します。



ケース 2

考えられる原因

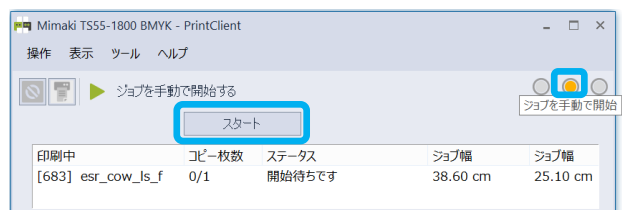
- PrintClient がオフライン状態になっていると印刷できません。

対処方法

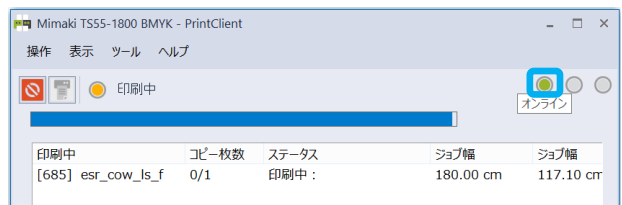
- 1 PrintClient ウィンドウ右上のシグナルを確認します。シグナルが赤い**オフライン**状態の場合は印刷が開始されません。



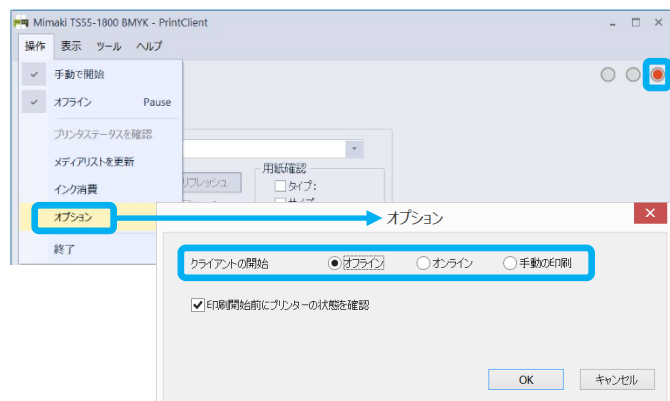
- 2 手動でジョブの印刷を開始したい場合は、**ジョブを手動で開始**を選択し、[スタート] をクリックします。



- 3 自動的にジョブの印刷を開始したい場合は、**オンライン**を選択します。



- PrintClient のデフォルトの起動モードは、PrintClient を**オフライン**にした状態で、PrintClient の、**操作 > オプション**で指定できます。または、**プリント環境のプリント設定 > プリンタとポート**でも指定できます。



印刷中にエラーが発生し、印刷が中断する

現象

- 印刷中に TxLink4 がプリンターとの通信エラーを検出し、印刷が中断する。

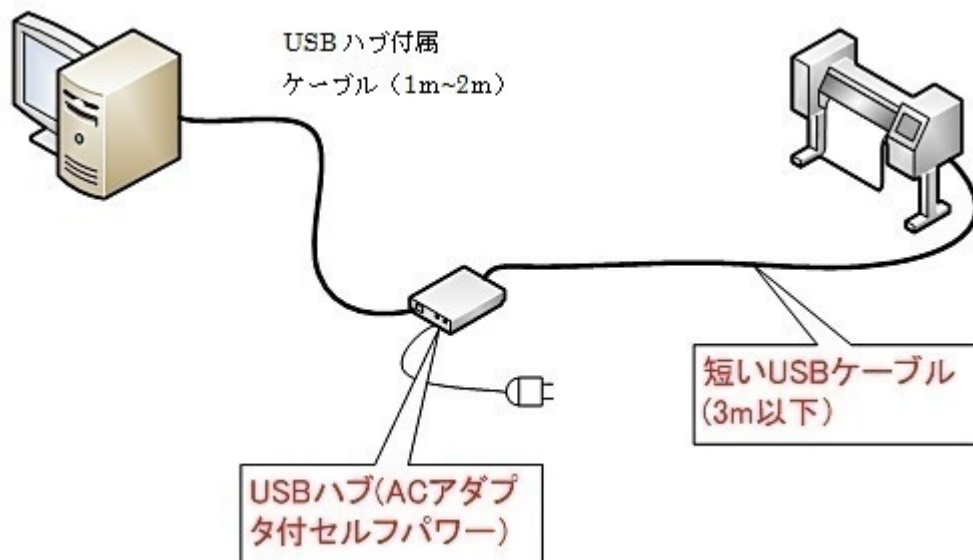
ケース 1

考えられる原因

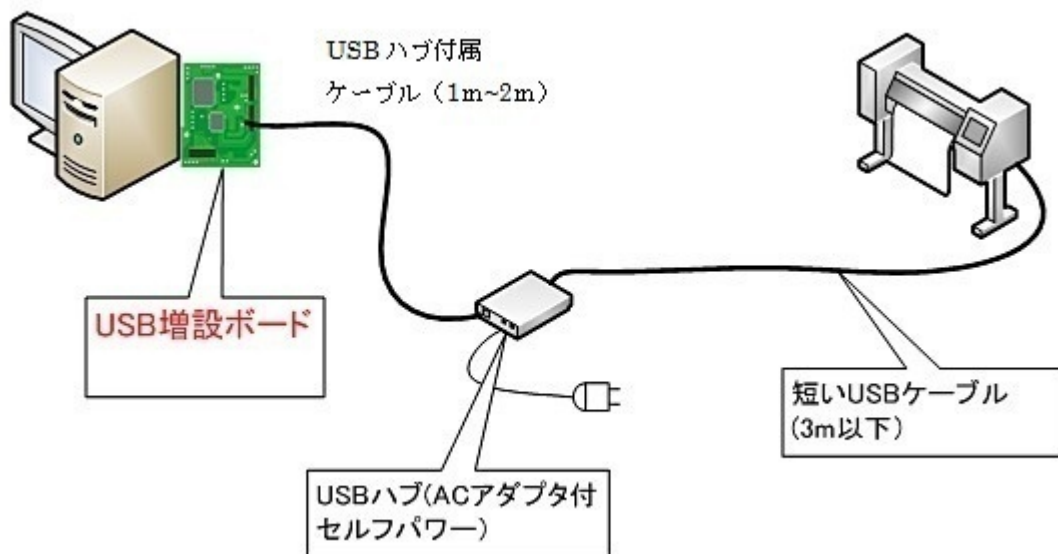
- USB 接続の接触不良または通信品質の低下が考えられます。

対処方法

- 1 プリンターと PC の電源を切り、USB ケーブルを一旦抜いて再接続してから起動してください。
- 2 USB ケーブルを PC の別ポートに接続し直してください。
- 3 リピーターケーブル等で USB ケーブルを延長している場合は、延長せずに動作確認してください。
- 4 ケーブルに傷や断線、配線上にストレスがある場合は、USB ケーブルを交換してください。
- 5 電源供給機能付きの USB Hub を経由して接続してください。USB2.0 ケーブルは、端子部分が金メッキされ、フェライトコアでノイズ対策されている 3m 以下の製品を使用してください。



- 6 上記 5 の対策を施しても改善しない場合は、PC に USB インターフェイスカードを増設して使用してください。



- 7 市販の USB2.0 ケーブルの中には、弊社製品との相性が悪いものがあります。弊社推奨の USB2.0 ケーブル (OPT-J0137 USB2.0 ケーブル 5m) をご用命ください。

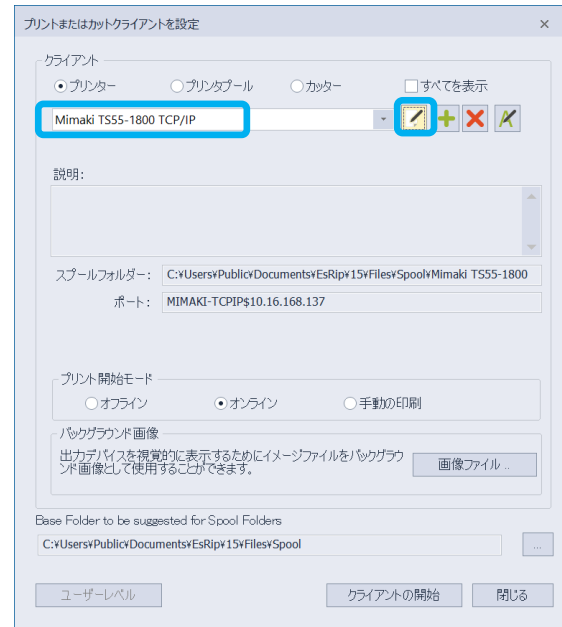
ケース 2

考えられる原因

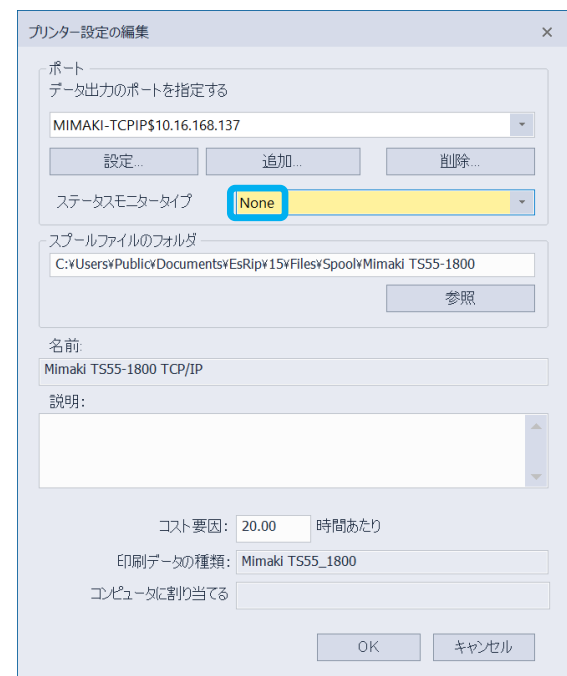
- PC の処理負荷増大に伴う通信性能の低下が考えられます。特に高速プリンター使用時や、複数台プリンター接続時に現象が発生しやすくなります。

対処方法

- 1 ツール > プリントクライアント > セットアップで対象の **PrintClient** を選択し、**[編集]** ボタンをクリックします。



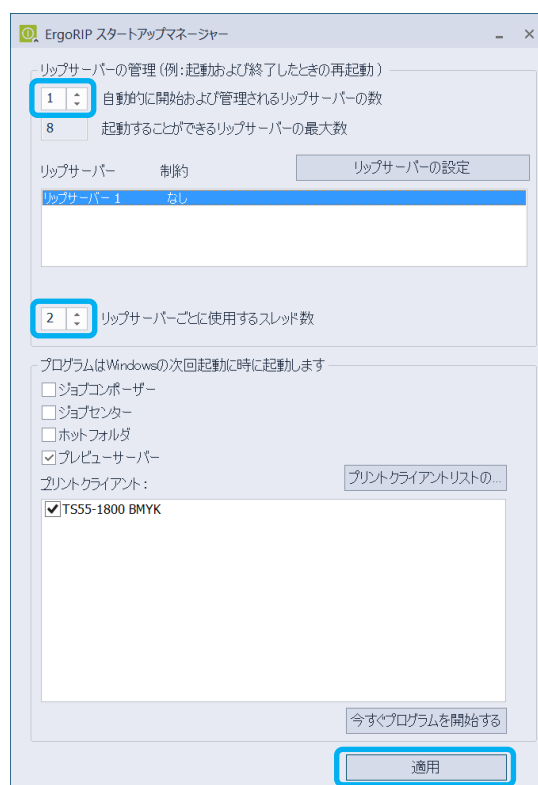
- 2 **[ステータスマonitorタイプ]** を **[None]** に変更し、**[OK]** をクリックします。**[None]** に変更することで、**PrintClient** ウィンドウでプリンタステータスを確認できなくなりますが、印刷中のエラー発生確率は低くなります。



- 3 上記の対策を講じても問題が解決しない場合は、リップサーバーの数やスレッド数を減らします。タスクトレイ内の、ErgoRIP スタートアップマネージャーのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「**コンフィグを表示**」を選択します。タスクトレイに ErgoRIP スタートアップマネージャーのアイコンが表示されていない場合は、**スタートメニュー > TxLink4 > メンテナンスツール**でメンテナンスツールを起動し、**環境設定** タブ内の「**プログラムを自動的に起動**」を実行してください。



- 4 「**自動的に開始および管理されるリップサーバーの数**」や「**リップサーバーごとに使用するスレッド数**」を減らします。



- 5 「**適用**」をクリックしてから、Windows を再起動します。

黒いプレビューが JobCenter や PrintClient に表示される

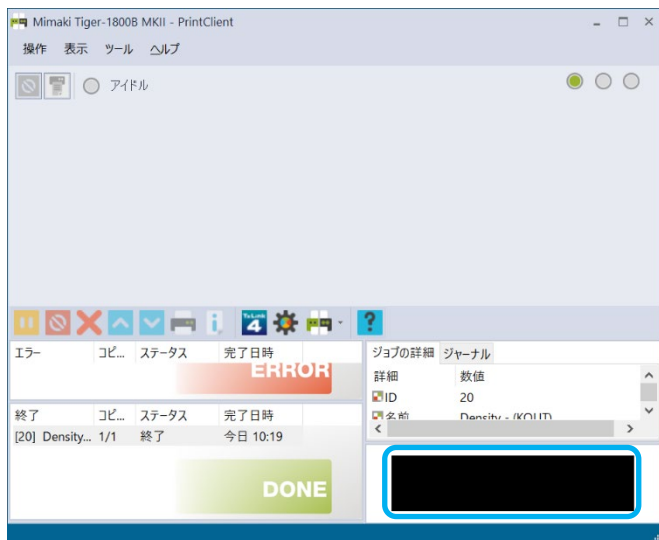
現象

- JobCenter や PrintClient のジョブの詳細タブに、黒い矩形のプレビューが表示される。更に Tiger-1800B MkII/MkIII を使用している場合は、MPC や QPrint で表示されるプレビューも黒い矩形で表示される。

ケース 1

考えられる原因

- 本現象は、ジョブの RIP 処理が、JobCenter, PrintClient 用のプレビュー画像作成処理よりも早く完了した場合に発生します。この場合、JobCenter や PrintClient は、プレビュー処理の完了を待たずに黒い矩形をプレビューとして表示します。プレビューの表示は異常ですが、印刷結果は正常です。



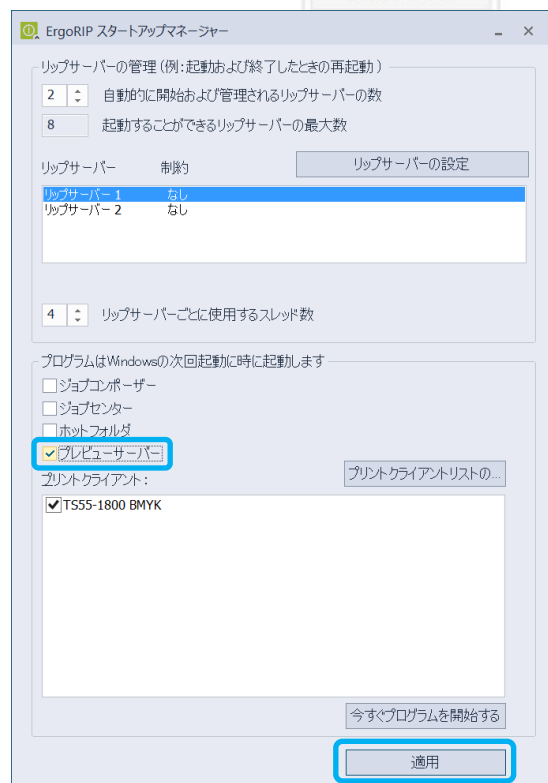
対処方法

本現象は完全に防ぐことはできません。単純な画像、特にリニアライゼーションチャートや、ColorGPS の校正チャートの印刷でしばしば発生します。以下に、改善方法を説明します。

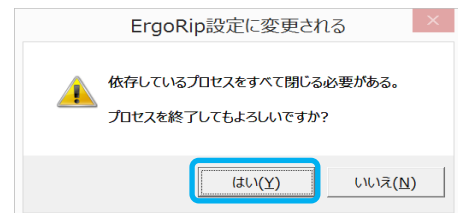
- 1 プレビューサーバーが JobComposer と同時に自動起動されるようになっていないと、最初のプレビュー画像作成処理は非常に遅くなります。タスクトレイ内の、ErgoRIP スタートアップマネージャーのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから [コンフィグを表示] を選択します。タスクトレイに ErgoRIP スタートアップマネージャーのアイコンが表示されていない場合は、スタートメニュー > TxLink4 > メンテナンスツールでメンテナンスツールを起動し、[環境設定] タブ内の [プログラムを自動的に起動] を実行してください。



- 2 [プレビューサーバー] をチェックし、[適用] をクリックします。次回の Windows 起動時から、プレビューサーバーが自動起動するようになります。



- 3 画像フォルダー内に非常に多くのスナップショットが存在すると、**プレビューサーバー**の応答時間が遅くなります。**スタートメニュー > TxLink4 > メンテナンスツール**でメンテナンスツールを起動し、[トラブルシューティング] タブ内の [スナップショットフォルダーのリストを空にする] を実行してください。

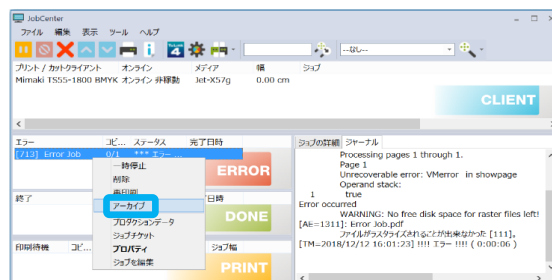


ジョブの実行中に発生するトラブル、または印刷結果の不良

ジョブのRIP処理中にエラーが発生する、あるいは印刷結果に異状が認められるなどの現象が発生する場合、その原因は多種多様であるため一概に原因を特定することができません。各アプリケーションノート、プリンターの取扱説明書、またはミマキエンジニアリングウェブサイトのよくあるご質問をご参考にされても問題が解決しない場合は、以下の手順に従ってジョブのアーカイブファイルを作成し、入力画像ファイル、具体的な現象の情報と共に、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

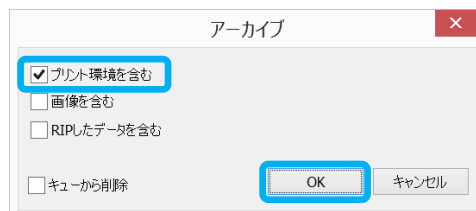
ジョブのアーカイブファイル作成方法

- 1 ツール > モジュール > ジョブセンターメニューで **JobCenter** を開き、[エラー]キュー (ERROR) または[終了]キュー (DONE) から該当ジョブを選択します。続いてマウス右クリックでポップアップメニューを開き、[アーカイブ]をクリックします。



- 2 アーカイブウィンドウで、アーカイブオプションを選択し、[OK]をクリックしてアーカイブファイルを作成します。

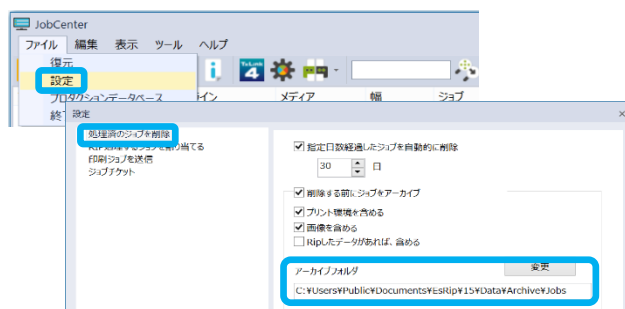
最低限、[プリント環境を含む] はチェックしてください。



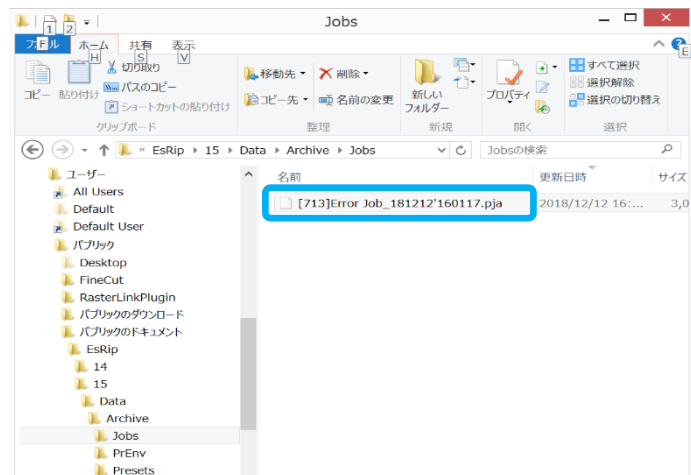
[RIP したデータを含む] をチェックすると、アーカイブファイルのサイズが非常に大きくなります。特に **Step & Repeat** ジョブの場合、1m 当たり最大で 1.5GB のサイズになります。[RIP したデータを含む] をチェックするかどうかは、弊社カスタマーサポートの指示に従ってください。

[画像を含む] をチェックしても、アーカイブファイルに入力画像ファイルは含められません。入力画像ファイルは別途取得し、アーカイブファイルと共に弊社カスタマーサポートにご提供ください。

- 3 **JobCenter** の、**ファイル > 設定** メニューで、アーカイブフォルダの場所を確認します。



- 4 上記3で確認したアーカイブフォルダ内から、対象のアーカイブファイル（拡張子：pja）を取得してください。アーカイブファイル名には、ジョブの ID、ジョブ名、ジョブの作成日時情報が含まれています。

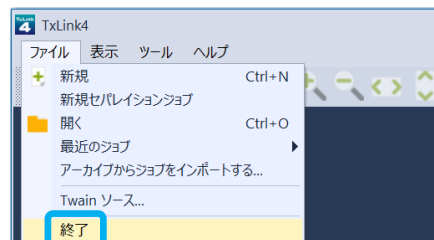


その他の問題

その他の TxLink4 に関するトラブル (TxLink4 自体の動作不良, PC とプリンターとの通信障害等) が発生した場合は、以下の手順に従ってサポートZIPファイルを作成し、具体的な現象の情報と共に、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

サポートZIPファイルの作成方法

- 1 TxLink4 を終了します。Album, Preview Server, RipServer, JobCenter, ホットフォルダ, PrintClient のウィンドウを開いている場合は、これらのウィンドウも閉じてください。



- 2 スタートメニュー > TxLink4 > メンテナンスツールで、トラブルシューティングを開きます。
- 3 [すべての RIP コンポーネントを閉じる] をクリックし、[すべての RIP プログラムを閉じる] ウィンドウで [OK] をクリックします。処理が完了すると、[すべての RIP プログラムを閉じる] ウィンドウが閉じます。



- 4 「サポートデータ ZIP ファイルを作成する」をクリックし、「サポートデータファイルを作成する」ウィンドウで「ファイルを作成」ボタンをクリックします。その後表示される「名前を付けて保存」ウィンドウで、任意の場所を選択し、「保存」ボタンをクリックすると、サポート ZIP ファイル (es.support.zip) が作成されます。

